

Event Information

Tokyo > Nepal > Tohoku : Stories of A Journey

第3回ネパール活動報告会&未来創造プロジェクト Youth Leader Training 2015キックオフ会を実施します



ネパールの隔離された村々や町の現状はどうなっているのか? 人々は地震の影響とどう向き合っているのか? 東京～ネパール～東北をつなぐプロジェクトの第3回報告会を11/15(日) 下北沢にて実施します。

◀ 前回の報告会の様子。
参加者の方は熱心に話を傾けてくれました!

イベント日時・場所

日時: 11月15日(日) 17時～20時半

場所: Half Moon Hall (下北沢北口より徒歩8分)
<http://www.halfmoonhall.com/>

住所: 東京都世田谷区北沢4-10-4

電話: 03-6423-1126

プログラム

17:00～18:00	Mr. Dのチャリティーレゲエヨガクラス
18:00～19:00	べちゃくちやスタイルでのネパールプレゼンテーション
19:00～20:00	エンターテイメント (Tomoko Miwaさんのライブ、ネパールダンス、ワイワイゲームなど)
20:00～20:30	未来創造プロジェクト Youth Leader Training 2015の紹介

※プログラムは前後する場合があります。

お食事 在日ネパール人による手作りネパール料理!

会費

1 イベントのみ (ネパール料理+ワンドリンク付)
大人: 3,500円 / 学生: 2,500円 / 小学生以下: 1,000円

2 ヨガのみ
大人: 2,000円 / 子供: 無料

3 イベント+ヨガ (ネパール料理+ワンドリンク付)
大人: 4,500円

お申込方法

contact@jispp.org以下の情報をメールにてお送り下さい。
メールの受領を持って正式なお申込とさせていただきます。

- 1 お名前 2 ご職業 3 ご年齢
4 ヨガ参加の可否 5 ご人数

イベントの収益はすべて、ネパールと東北の高校生10人を対象に、12月に東北で開催される「未来創造プロジェクト Youth Leader Training 2015」の費用に充てさせていただきます。東北をはじめ、各地域において復興に主体的に行動できる若者を育成するこのプロジェクトへの応援をよろしくお願ひいたします。11月15日にお会いできますことを一同、心よりお待ちしております!

ご支援(寄付)のお願い

当団体の理念やプロジェクトにご賛同いただける方からのご支援(寄付)をお待ちしております。寄付は下記Webサイトより受け付けております。ご協力のほどどうぞよろしくお願ひ致します。



一般社団法人JISP(日本イスラエイド・サポート・プログラム)は、専門性の高い心のケアを通して、震災や人災にあわれた方・コミュニティの復興と発展をサポートする支援団体です。



ネパールメディカルキャンプでの1枚。私たちはこんな笑顔を増やしていきたい!

お問い合わせ

宮城県仙台市青葉区小田原
5-3-60 コープ和香101号室
Tel: 022-722-8825
Fax: 022-722-8825
Email: contact@jispp.org
Web: <http://jispp.org>



災害からの心の回復と成長をサポート

NEWS LETTER

Nov 2015

Vol. 01

JICTER

日本国際トラウマ/緊急支援センターの略称。国内外の被災地を支援するため、心理社会支援の専門家ネットワークを日本に構築することをめざすプロジェクト。

心理社会支援の手法を学べる 2つのワークショップを開催



10月は、心のケアの専門家を対象に、心理社会支援を実践するための集中トレーニングプログラムを実施。参加者の方々は、トラウマケアやPTSD予防のための表現セラピー、グループファシリテーション技術をワークショップ形式で学ぶことができました。

◀ ワークショップの修了証を手にする達成感もひとしお!

アミア・リーブリッチ博士による 理論的・体験型ワークショップ

10月3・4日、イスラエル・ヘブライ大学名誉教授、アミア・リーブリッチ博士を迎え、個々の人生を傾聴するライフストーリー・インタビューについて学ぶワークショップを実施。ライフストーリーについての理論的説明だけでなく、どのようにライフストーリーを得るか、インタビューの際に大切なことなどを体験的に学ぶ時間となりました。

参加者の声

- ライフストーリーという、研究にも、記録にも、心理療法にも使えるような手法を教えていただいたり勉強になりました。
- 文化とライフストーリー、アイデンティティーが関連していることを体験からも学ぶことができ、よかったです。



JICTERでは、第1期120時間トレーニングプログラムを2016年4月まで開催しております。ご興味をお持ちの方はぜひ下記までご連絡ください。
お問い合わせ先: contact@jispp.org

倉石聡子先生よりアートセラピーの 組み立て方を実践的に学ぶ

10月12日には、活動団体アップコンセプト主宰アートセラピスト、臨床心理士である、倉石聡子先生を迎え、JICTER勉強会を開催。アセスメントの重要性や画材の使い方など、アートセラピーの組み立て方を実践的にレクチャーしていただきました。

参加者の声

- アートセラピーについて、日本と諸外国の違いやプログラムの組み立て方について学ぶことができ、大変勉強になりました。ありがとうございました。
- 素材やテーマの選び方やワークの組み立て方がとても勉強になりました。これまでの体験が整理されました。



未来創造プロジェクト

被災した若者が未来に夢や希望を抱き、実際に社会に出てから活躍できるように、次世代のリーダーを育成するプロジェクト

Youth Leader Training 2015 新プロジェクト始動!!

12月24～29日、東北とネパールの若い世代が繋がる

JISPでインターンをしている平塚奏流です。これまで、東北とネパールの高校生は、ペンパルやスカイプで交流してきました。しかし、今、ネパールの高校生を東北に招く「Youth Leader Training 2015」というプロジェクトが動き始めています。東北の人たちとネパールの高校生を繋げるということは、僕自身とてもやりがいを感じています!! 現在、ネパールの高校生の参加者5人が決まり、今は東北からの参加者を募集中です。また参加者に復興の歩みを知ってもらうためのツアーも考案中です。インターンを始めて3ヶ月になりますが、これからどんどんプログラムを詰めていき12月の本番に向けて頑張っています!

「役に立ちたい」という思いがプロジェクトを生む

以下は、2015年4月、ネパールで大地震が起きた際、自ら募金活動と呼びかけてくれた高校生・西貝茂辰くんの声です。「Youth Leader Training 2015」はこの募金活動から始まっています。

「僕がまずは募金しようと思ったきっかけ、それはネパールでの大地震のニュースを見たとき、現地の状況に、純粋に衝撃を受けたからでした。何かしら役に立ちたいと思い街頭募金をし、友人から元々数千円しか集まらないと聞いていた中、2日間で13万円集めることができました。宮城の人は若者からお年寄りまで、震災時の辛さもわかっているからこそかなりの数の方が募金してくれたのではないかと思います。そして東北の経験を、仙台に住む自分が沿岸部の学生と共にこれからの復興に生かしていけないかと思いました。」



5月31日に仙台で行った募金活動の様子。▶ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました!

東北の声

被災された方々にインタビューをし、彼らの「声」を映像に残すことで、個人の体験や記憶を次世代に伝えていくプロジェクト

石巻にて『語ること／聴くこと』ワークショップを開催

「東北の声」の考案者である アミア博士との対話

9月27日、アミア・リープリッヒ博士の来日に合わせ、石巻のオープンスペース「NICK」にて、「東北の声」の小規模なワークショップを開催しました。これまでインタビューをさせていただいた石巻在住の3人の方にのみご参加いただきました。ワークショップではまず、それぞれの参加者の震災についての体験が記録されたインタビュー映像を、全員で拝見。そのうち、アミア博士が参加者にいくつかの質問をしていき、体験を『語ること／聴くこと』の意味について、話しあう時間となりました。



◀ワークショップは同時通訳で行われ、参加者も博士も円滑に対話することができました。

「東北の声」はこの先 どのような意味をもつのか?

今回、ワークショップに参加された男性の方がこのようにことをおっしゃっていました。「震災の時の話って家族にも話さないんですけど、このビデオを見せたら“親父はあのときこんな想いでお前らを探していたんだぞ”って、伝わるのかな」。当時のことは、石巻の人同士ではもうほとんど話したりしないそうです。震災からもうすぐ5年、今はなかなか話されないことも、映像に残すことで、伝えることができるかもしれません。参加者の方のこのような感想は、これから「東北の声」をどう活用するかを考える糧になります。東北の方にも意義を感じていただくため、今後も積極的にワークショップを催したいと思っています。ご参加いただいた方々、ありがとうございました!

海外支援プロジェクト

ネパールなど、自然災害による被害を受けた地域に対し、医療サポート・心のケア・若者支援などを継続的に行うプロジェクト

ネパールの方の優しさに触れる 機会となったメディカルキャンプ

ネパール語を練習するものの 発音に苦戦!

9月22～30日、ネパールへメディカルキャンプに行ってきました。カトマンズで物品を用意し、さまざまな協力者から情報を得ながら、2つの地域を巡回しました。日本との違いに戸惑いつつ、現地スタッフや多くの住民の協力により300名以上の患者さんを診察することができました。インドからの経済制裁によるガソリン不足で多くの困難に遭遇しましたが、同時にたくさんのネパールの方の優しさに触れる機会にもなりました。現地の方とコミュニケーションがすぐに取れるよう、ネパール語のあいさつをカタカナで練習しましたが、発音が難しいです!



メディカルサポートだけでなく、コミュニティの復興支援も行ってきました。▶

Healing Japan Project

心理社会支援を行なっている方々、またそのサポーターに向け、表現によるセラピーの方法やPTSD予防法等のトレーニングを実施するプロジェクト

アートセラピスト、タミ・ガヴロン氏 による2つのワークショップ

支援者のセルフケアの 重要性について学ぶ

8月29・30日に宮城県陸前高田市で、医療/福祉/介護の分野で支援を行う方々を対象に「支援者のための、アートを用いたセルフケアワークショップ」を実施しました。2日間のワークショップでは、個人とグループのプロセスを組み合わせ、アートによる感情や思いの表現方法、それが持つ力を体験していただきました。参加して下さった方からは、「アートワークを個人・グループで共感、体験し、自分を表現することで、周囲から刺激、影響を受け、個人・グループも変化していくことを感じた」といった声をいただくことができました。ご協力、ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。

アートを用いた スーパービジョンワークショップ

9月3日には、仙台を拠点にアートを通して支援活動を続ける、NPO法人すんぷちよさまの協力を得て、アートを用いたスーパービジョンワークショップを開催。2人1組になり、気がかりな問題の提示、パートナーによる反応、その反応をふまえて新しい視点を感じる、という「3つの作品」をすべてアートを用いて創造。言葉を一切使わない表現を通して、今必要とされていることがはっきりと見えてきたのが印象的でした。



自分の中で行き詰まっていたものが、
流れてくれたように思います。
とても晴れやかな気分になりました。